

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

# 文化通心

2018

冬

12月1日発行(季刊)



## 武者小路通の官休庵

財団の友の会「晴友会」の研修旅行で、紅葉の始まった京都に訪れました。改修工事の終わった野村美術館では、夏期講習でのご講演や懸け釜をお願いした谷館長と再会。そして銀閣寺の門前の塵外室では、三友居さんの心づくしの点心を堪能して、最後に官休庵のお茶室見学とお茶席を体験させて頂きました。

(4頁に関連記事)

第四回 あ・うんの数寄講座「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」その二  
晴友会の研修旅行  
12月から2月までの茶華道・イベント情報  
財団からのお知らせ

100

発行・公益財団法人 中條文化振興財団  
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号  
TEL.(087)826-3355 FAX.(087)826-2212

## 第四回

## あ・うんの数寄講座 その二

# 茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

茶の湯は、日本の文化の集大成と良く言われますが、常に世界のさまざまな文化を取り込みながら発展してきました。さらに、時代を越えて現代においても、その流れが留まる事はありません。この講座は、専門家をお招きして、茶の湯を更に楽しむ為のヒントを頂く機会として企画いたしました。お茶の楽しみに極まるところは、ありません。

第四回 八月十八日(土)

## 利休の茶

筒井紘一(茶道資料館顧問)

茶会の楽しみは亭主が7割だそうで、お客に感動してもらう為のアレやコレやの準備が、お茶をしている者にとってはやっぱり、1番の楽しみですね。中でも、道具の取合わせはその最たるもので、亭主は季節などのテーマに沿った道具を蔵から出してきたり、思い切った買ったり。問答で、お作は？って聞かれた時、ちょっとドヤ顔(笑)で、〇〇造ですって言いたかったり。

お茶会の会記では、「茶碗 黒 長次郎造」とかと書いたりしますから、やっぱり見た人がビックリするような道具が欲しいなあと、お茶の世界の隅っこに

ちょこつと居るだけの私なんぞでも、そう思ったりするのでございます。

さて、夏の講座「利休の茶」を拝聴させていただきました。講師の筒井紘一先生は、茶道総合資料館顧問、茶書研究会会長でもあらせられる日本の茶道研究の大家です。「利休の逸話」や「すらすら読める南方録」など多数の著書を出されていて、講座の表題ともなっています。「千利休の茶会抄録」には、千利休の茶会が余すことなく紹介されています。

今回の講座では千利休やその当時の茶人達のエピソードを交えて、今に伝わる茶道に向き合う姿勢や心についてお話しくださりました。ちなみに千利休にまつわるエピソードは五百はあり(うち四百三十は「利休の逸話」「利休茶話」に掲載)、歴史上の人物でそれほどの逸話を持つている人は他には居ないそうです。講座の冒頭に筒井先生は、千利休のイ



メージについてお問いかけにられました。皆さんも映画や本で見かけたことがある色々な利休像がおりでしょうが、本当の千利休は茶会記に居ること。

天文十三年(1544)二月二十七日

一堺千宗易

右二人(惠遊、久政)

釣物一 手水の間二、床二四方盆二善幸

香炉、袋二人テ、

板 ツルへ 珠光茶碗

香炉セカイ内角アツク、腰ノ上下二指ノ  
アトホドノスシニツ、アリ、間ハ二分程  
アリ、ヒ、キ大小アリ、色青シ、フキス

ミアリ、土紫色也、底ニテスハル、高二寸八分余アルト也、

(以下省略(料理、菓子) 久政茶会記)

これは千利休が与四郎から千宗易を名乗って初めての茶会。道具としては「これだけ？」と言う印象は否めないかと思えます。〇〇造というのありません。当時の茶道具といえば唐物、釜は芦屋とか天明が普通で、現代では垂涎な物が特筆するほどでも無かったのでしょう。床に飾った香炉の形状とその飾り方について詳しく記述されています。おそらくこれが千利休の創意だったのではないかと想像します。

千利休が武野紹鷗に弟子入りのお願ひに行った時、紹鷗に庭の掃除をしておけと言われた千利休は、木を揺すって綺麗に掃除されていた庭に木の葉を落とした逸話、豊臣秀吉に対しての朝顔の見せ方、茶会の朝に張られたクモの巣はそのままだにしておきなさいと言う教え。エピソードと茶会記を交えてみると、千利休がどれだけ創意と言うものを大切にしていたかが伺い知れ、またそうする事で会記がより楽しいものになるように感じました。

そして講義の最後、締めにお話くださった事を紹介します。

当時、千利休のライバルと言われた茶人は今井宗久と津田宗及。武器商人と豪商のどちらも大変なお金持ち。道具も名物など沢山持っていたそうです。対して



千利休は千物屋さん。まあまあくらいのレベルだったみたいです。だからこそたくさんの創意工夫をこらしてきた。そして今に残ったのは、今井や津田ではなく、千利休のお茶なのです。

少し余談になりますが、講座の後のお食事会、食後にそのお店の店主が、とても素敵なお茶碗でお茶を出してくださいました。その素敵なお茶碗以上に、「このタイミングで、こんな良いのが出てくるなんて！流石です！」と言う感じの、店主のその技量やサービス精神に大変感服してしまいました。もちろん筒井先生も大変喜ばれ、そのお茶碗を欲しがる始末（笑）。創意の大切さを教わった講義の後だからか、やっぱり良い道具とそれを上手に使える創意が持てるように、これからも精進したいと思います。

稽古は強かれ、情識はなかれ。（強かれとは一生懸命に、情識とは傲慢な心で人の言う事を聞かないと言う意味。伸びないそうですよ。）

そして、若きは務べし、老いたるとて捨つべからず。

と言うお教えなど、今も語り継がれ、今の時代に聞いても理解出来るって、千利休も、それらを受け継いできた茶人たちも、茶道も、やっぱり凄いなあと思う次第です。このような良い機会をもたらしてくれたのは、もちろん中條文化振興財団なんですが、お茶の底知れぬすごさでもあるんですね。

ありがとうございました。（原大策）

第五回 八月二十六日（日）

## 日本の歳事と

## しきたりを楽しむ

（後半）

芳野宗春

（武者小路千家幹部職分格芳野家三代当主）

昨年の続きのご講演と楽しみにしていましたが、今回、初めてご参加いただいた方もいらつしやるとのご配慮で、年の始めからお話しをしていただきました。

日本は歳事（いわゆるしきたり）を楽しむ国であり、お茶の世界では季節の行事を楽しむために大切なことだと説明された。

お正月・神迎えの行事で、門松やしめ縄は「家をきれいにしましたから、神様どうぞいらつしやってください」という標しとなる。そして、どんど焼きで神様をお送りする。

春・花見も神迎えの行事で、農作業の始まりである。だから、ご馳走を持つて桜の下で、神様に喜んでいただけるように楽しく過ごすことが大切。藤娘も藤の花で田畑に神様を導く務めを持つている。

そして、田の守り神として案山子を立てる。

六月末・夏越しの祓いの茅の輪くぐりで邪気を払う。生活面では、建具の入れ替えや衣替えの時期となっている。

七月・たなばたまつりで、これは、天

に祈る星まつりと言える。現代では七夕と書くが、棚機（たなはた）に由来しており、織物の技術を手に入れたことに感謝する意味もあり、後には習字やお裁縫など手による技術が上達することを願うようになってきた。そして、なぜ七夕と書くのか？是非、調べてくださいたとの課題もいただきました。

八月・八朔の行事がある。これは、分家が本家に挨拶に行くことからの由来で、習い事の師匠にご挨拶に行くようになっていて今のお中元となっている、お盆には先祖の霊をお迎えし、お送りする行事があり、キュウリでつくった馬で速く来てナスでつくった牛でゆっくりお帰りいただくことを願って用意する風習がある。また、子供達が輪になって数珠を繰り回す地藏盆の行事も行われる。

九月・月見の宴がある。農耕の神様に収穫の感謝をするもので、稲穂に見立てたススキやお団子などを供える。

十月・紅葉の美しい時期には、もみじ狩りとして秋を楽しむことも大切なことです。

十一月・御火焚きまつりがある。日ごとに太陽の光が弱くなってくるので、お日様を元気づけるためのお祭りです。いただいた火は消えないよう大切に持ち帰る。人が住まなくなった家を「火の気が消えたようだ」と言われる所以です。

十二月・十三日は事始めでお正月の準備を始める日とされている。習い事のお師匠さんに「よろしくお願いたします」

とご挨拶に行く日でもあり、後のお歳暮の始まりとなった。

追儺（鬼やらい）も行われる。宮中では、三十日に桃の枝で作った弓で四方に矢を射て、邪気を払う行事であって、一般には二月三日の節分の豆まきとなっている。そして、神様をお迎えするための大掃除をして、しめ縄・門松を置く。

新年・除夜の鐘が鳴れば、年の始めの水を汲み、お茶を点てる、いわゆる「初釜」である。火は消さず、うずめ火としておく。そして、その年の一番始めの日の光を浴びて気を入れ、初詣に行く。お正月に七草粥を食べるのは、太陽の光を浴びた新芽を入れた粥をいただいて太陽の気を取り込むためでもある。

これらの「年の歳事」を京都の祭りや風習などを交えながら楽しくお話しをしていただきました。今を生きる私たちに、神代の昔からの言い伝えや習わしを教えていただき、思いを新たにされた学びのひと時でした。（千葉規美子）



# 晴友会の研修旅行

恒例の「秋の晴友会研修旅行」、今年は、茶道具や能面、能装束などの展示する野村美術館の見学後に、出張茶懐石専門・三友居で昼食を兼ねた小休止をとり、武者小路千家・官休庵でお茶のお振舞いという「お茶文化の神髄を垣間見る」企画でご案内を差し上げました。

早朝にもかかわらず、各集合場所から乗り込んでいらつした会員のみなさま方の「お久しぶり、今日はよろしく」から始まった会話の賑やかさといったら、事務局長が主催者挨拶のタイミングを計りかねるほどの「楽しさ」満載の出発となりました。

紅葉の始まった京都の風景を愛でながら野村美術館の前に立ちました。アプローチの石畳にいざなわれて館内へ。ロビーには野村證券創業者・野村徳七翁の能・安宅の弁慶を直面で演じる姿を写した小ぶりの銅像が際立ちます。財閥の雄にして近代数寄者の趣味人、野村翁はかくやあらんといった風情の写実的な肖像の前で、思わず「こんにちは」と声をかけてしまいました。

その彼のコレクションをもとに開館された茶の湯と能にかかわる美術展示する野村美術館は、今秋に開館八十五周年を迎えてリニューアルオープンしたばかり。谷晃館長様からにこやかな笑顔、穏やかな口調で「ようこそ…ごゆっくり」

と館内の説明があり、財団にとっては一昨年来より、夏期講座でご講演いただいたり、茶室設立二十周年記念茶会の掉尾を飾って釜を懸けていただいたりしたので、懐かしさを感じた方もあったかと思いました。

「茶の湯の美・能の美・日本の美」と題した展示は、茶道具、能装束、書画、工芸品が織りなす美の世界の披露。奥長い展示スペースにもかかわらず、枠のない大きな嵌め込みガラス窓（重量はいかばかりかとハード面での苦心の程がうかがわれます）越しに「大切に守られてきた」ものが語る来歴のすごさが、取合せの妙に操られていっそう雄弁に美を語りかけてくるようでした。

一隅に二畳敷の展示茶室がしつらわれ、濃茶道具を情景展示して緊張感を漂わせます。ここに限らず、全展示品の数々のご紹介は浅学が列記する形や銘の羅列より、沈黙はナントやらに倣って至宝の雰囲気だけをお伝えして、是非、見学に行かれることをお勧めします。



武者小路千家・官休庵

三友居

三友居でのお昼はお碗を添えた籠弁当。出張専門のお店が便宜をはかってくださったのは、もしかして、財団の懐石料理講座の講師をお引き受けしていただいているご主人の山本勝先生のお計らいでしょうか。お給仕は奥さま陣頭のご家族みなさま、お気遣いに恐縮しながら、行き届いた心地よさに感謝したひとときを過ごすことができました。「秋」の京料理の美しい彩りに「お箸をつけるのが惜しい」の声があちこちであがりましたが、もちろん、美味をしっかりと堪能させていただきました。

いよいよ庄巻の武者小路千家・官休庵に足を運びます。千利休の孫・元伯宗旦の次男が塗師吉岡の家業を継いだ後、それを中村家（千家十職中村宗哲）に譲って茶の湯に回帰し、武者小路千家（一翁

## 財団行事予定（十二月～二月）

### 十二月

- ◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生  
十二月四日（火）午前十一時・午後三時
- ◆ 書道教室 毎月第一・第三金曜日  
森本義人先生  
十二月七日・二十一日（金）  
午前十時～十二時

### ◆ ヤングヤング（子供茶の湯教室）

- 毎月第二・第四土曜日 山下純子先生  
十二月八日・二十二日（土）午後一時～  
十二月月釜 五人様茶会

### ◆ 処 美藻庵 晴松亭（当財団茶室）

- 濃茶 表千家流 土井宗友  
薄茶 表千家流 土井宗聖  
点心 表千家流 土井宗美  
会費 五千円

### ◆ 入席時間ご案内（各席二時間十五分を予定）

- 第一席 A席・B席 九時
- 第二席 A席・B席 十時三十分
- 第三席 A席・B席 十一時十五分
- 第四席 A席・B席 十二時四十五分
- 第五席 A席・B席 十四時十五分

### ◆ 十二月十八日（火）午前十時～午後四時迄

- 自由なお時間にお出掛け下さい。
- ランチは要予約です。

### ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

- 十二月二十一日（金）午前十時～十二時

### ◆ 書道教室 森本義人先生

- 一月四日・十八日（金）午前十時～十二時

### ◆ 初釜

- 己亥歳の新春を寿ぎ裏千家の高畑先生が  
点初めのお席を設けてくださいます。  
「新年を迎え『齢を重ねる喜び』を初釜の  
テーマにしてお待ちしております」と席主  
からのメッセージを添えてご案内致します。  
好例の福引もありますのでお楽しみに。
- 日時 一月五日（土）
- 処 美藻庵 晴松亭（当財団茶室）
- 席主 裏千家 高畑宗稔
- 茶席 濃茶・薄茶・点心席



## 甘〜いお話

寒くなってきてコタツから離れられない季節になりました。暖かいお茶を入れてホッと一息入れたい。ちょっと口寂しい。そんな時に甘納豆はいかがでしょう。

手軽に手に入って保存も簡単、しかも小さくて甘いのでちょっとしたお茶うけには最適です。

甘納豆の元祖は江戸日本橋(現東京都中央区)に創業した和菓子店「榮太郎」の三代目が考案し遠州名物「浜名納豆」にちなんで「甘名納糖」と名付けたとこのことの諸説があります。

甘納豆は、小豆やインゲン豆・そら豆などを砂糖と共に甘く煮詰めさらに砂糖をまぶしてから乾燥させて作るのですが、最近では落花生や黒豆・鳴門金時の甘納豆もあっていろんな食感が楽しめます。

純粋に豆と砂糖だけで作る菓子だけに、職人の技が製品に如実に現れるお菓子のようです。

甘納豆には「食物繊維」が豊富に含まれているので整腸作用という腸内環境を整えてくれる働きがありますが、食べ過ぎにご注意を！



## お茶の風景(2)

## 茶碗

お茶道具の茶碗に丁寧語のおをつけると、ごはんをよそうお茶碗と混同しそうですが、天下一の茶碗師・桑吉左衛門さん宅の玄関には本阿弥光悦筆「御・ちゃわん屋」の暖簾が、時代の重さを匂わせて季節の風に揺れています。

茶席で膝前に置かれた茶碗を「お点前頂戴します」と取り上げた時、見た目と違う軽さに驚かされることがよくあります。茶碗作りの苦心は「置いて重く、持って軽く」などと言われまです。これは会心の作ということでしょうか。

幼稚園の可愛い造形作家たちに交じって、茶碗作りに挑戦したことがあります。粘土を捏ねて引きあげながら成形していくのですが、紅葉のお手々で完成させた小さな茶碗には細い指跡がくっきり。お家でのパパやママとのリビング茶会のほほえましい光景が目に見えそうです。

こちらは、粘土がのびず底が厚く「置いて重く、持って重く」の仕上がり。使い勝手のまずさが影響して未だに出番待ち状態です。



宗守)を名乗ります。現在地に官休庵を建て茶人としての道を歩んだお家代々の歴史の中には、わが郷土讃岐に深くかわるものもありました。

江戸時代の讃岐高松初代藩主松平頼重の招きで茶道指南のための茶頭出仕が明治まで続いたこと、利休が侘茶を具現するものとして長次郎に焼かせた赤染の木守茶碗が官休庵に伝わり、松平家に献上された後も歴代の家元襲名茶事に欠かせぬ皇統を示す茶碗となった後日譚は今に語り継がれ、高松では晩秋の茶会に木守写しの茶碗がよく登場して縁が語られます。

表玄関から寄付にありがた弘道庵でいろいろお話を伺いました。江戸時代にたびたびの大火類焼で消失しながらも再建を繰り返してきた下りでは、次代に受け継がれる形が茶の家の精神を養成していく一面になっていくのかななどと思ったりしました。渡り廊下を経て行舟亭、環翠園、鞘の間など茶室の説明を受け、編笠門の前を通って起風軒二階の立礼席でお茶をよばれました。若宗匠監修の天遊卓でお点前があり、フルートの名手でもあるお家元が催されるコンサートにも使えるように音教効果も配慮されているとか。雑誌のグラビア特集で和と洋の織りなす茶会風景写真を拝見したことなども思い出しながらお薄一服頂戴しました。帰途、楽しかった一日の思い出話に花が咲いた車中であつたことは申すまでもありません。

会費 八千円

入席時間ご案内(各席十五名)

第一席九時

第二席九時五十分

第三席十時四十分

第四席十一時三十分

第五席十二時二十分

第六席十三時十分

第七席十四時

第八席十四時五十分

各席二時間三十分を予定

和菓子講座 高橋初乃先生

一月十一日(金)午前十時〜十二時

ヤングヤング(子供茶の湯教室)

山下純子先生

一月十二日・二十六日(土)午後一時〜

月に一度の喫茶室(ランチは要予約)

一月十五日(火)午前十時〜午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

## 二月

書道教室 森本義人先生

二月一日・十五日(金)午前十時〜十二時

二月懸釜 節分茶会

日時 二月三日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

濃茶 武者小路千家家元後嗣千宗屋宗匠

薄茶 武者小路千家 木津露真宗匠

詳細は最終ページに記載

和菓子講座 高橋初乃先生

二月八日(金)午前十時〜十二時

ヤングヤング(子供茶の湯教室)

山下純子先生

二月九日・二十三日(土)午後一時〜

二月月釜 五人様茶会

早春のお茶室、茶庭をお楽しみください

日時 二月十七日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

濃茶 裏千家 神内宗康

薄茶 裏千家 平池宗秀

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費・入席時間 十二月五人様茶会と同様

月に一度の喫茶室(ランチは要予約)

二月十九日(火)午前十時〜午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要

です。お申込み・お問合せは、

当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一十一

☎(087)826-3355

# 茶 華 道 ガ イ ド

## 表千家同門会香川県支部 ☎ (087) 845-4638

- 1/20 香川県支部創立記念茶会  
席主：岸上宗和・山田宗豊  
三豊市文化会館 1,200円 9:00～15:00
- 2/10 東讃四季茶会 席主：小谷宗華  
中條文化振興財団 700円 9:00～15:00

## 香川大学表千家流茶道部 ☎ 090-8977-8417

- 12/16、1/20、2/17 月釜  
龍光塾 500円 10:00～14:00

## 琴平月釜茶道会 ☎ (0877) 58-9551

- 12/1～2 第46回琴平町歳末助け合いチャリティー茶会  
席主：裏千家 田中宗武、上杉宗邦、  
宮武宗隆、片桐宗恵  
町総合センター 200円 9:00～15:00
- 3/10 松尾寺 月釜 席主：裏千家 田中宗武  
松尾寺 500円 9:00～15:00

## 茶道裏千家淡交会香川支部 ☎ 090-4337-1280

- 12/1～2 善琴分会 年末助け合いチャリティー茶会  
席主：琴平教授者  
琴平総合会館 200円 9:00～15:00
- 12/2 坂出分会 月釜 席主：田井宗久  
翠松閣 500円 10:00～14:00
- 12/2 丸亀分会 月釜 席主：上川宗綱  
生涯学習センター 500円 10:00～15:00

- 1/20 多度津分会 月釜 席主：大上宗輝  
総合福祉センター2F 500円 10:00～15:00

- 2/10 丸亀分会 月釜 席主：為定宗友  
生涯学習センター 500円 10:00～15:00
- 2/24 坂出分会 月釜 席主：北地宗直  
勤労福祉センター 500円 10:00～14:00
- 3/3 善琴分会 月釜 席主：山下宗由  
樟蔭軒 500円 9:00～14:00

## 茶道裏千家淡交会高松支部 ☎ (087) 861-3136

- 12/9 年末チャリティ茶会 席主：高松青年部  
中野天満宮天神会館  
前売1,000円・当日1,100円 9:00～15:00
- 2/3 淡交会高松支部月釜 席主：岩倉宗睦  
大西・アオイ記念館  
前売600円・当日700円 9:00～15:00

## 煎茶道三笑亭貴茶流高松支部高松仙友会 ☎ (087) 865-2260

- 2/17 きさらぎ茶会といけばな展  
(高松市茶華道協会)  
席主：三笑亭貴茶流高松支部高松仙友会  
(桑島一葉)  
大西・アオイ記念館 600円 9:00～15:00

## 東讃茶道懇話会 ☎ (087) 898-0391

- 12/9 月釜 席主：官休庵庵 佐々木博子  
池戸西徳寺 600円 9:00～15:30

## 武者小路千家香川官休会 ☎ (087) 851-2258

- 1/27 香川官休会月釜 席主：竹井恵子  
無量寿院 600円 9:00～15:00

## 高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087) 879-0717

- <由佐城月釜茶会>  
第2研修室(和室) 500円 9:30～14:30
- 12/16 席主：三好宇太郎(武者小路千家)
- 2/17 席主：森本宗恵(裏千家 高畑宗稔社中)

## 中條文化振興財団 ☎ (087) 826-3355

- 12/9 12月月釜 五人様茶会 5,000円  
濃茶：表千家流 土井宗友  
薄茶：表千家流 上市宗聖  
点心：表千家流 土井宗美
- 1/5 初釜 8,000円  
席主：裏千家 高畑宗稔
- 2/3 2月懸釜 25,000円  
濃茶：武者小路千家家元後嗣 千宗屋宗匠  
薄茶：武者小路千家 木津露真宗匠
- 2/17 2月月釜 五人様茶会 5,000円  
濃茶：裏千家 神内宗康  
薄茶：裏千家 平池宗秀

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。  
詳細は、財団行事予定・最終ページをご覧ください。

# イ ベ ント ガ イ ド

## 坂出市民ホール ☎ (0877) 45-1505

- 12/24 瀬戸フィルハーモニー交響楽団  
クリスマスコンサート 13:30～
- 1/14 さかいで第九演奏会 14:00～

## 坂出市民美術館 ☎ (0877) 45-7110

- 12/1～9 第56回坂出市美術展覧会 9:00～
- 12/15～16 坂出市婦人団体連絡協議会  
生活文化展 9:00～
- 1/8～20 83年ぶりに白川と猪熊の県展作品が再会  
「新春のロビー展」 9:00～
- 1/14 美術館セミナー(定員30名) 13:30～  
講師：明石安哲(コラムニスト)、  
尾田美和子(西陣織研究家)
- 1/25～27 第48回幼児画展  
「みて！みて！ばくの絵、わたしの絵」 9:00～

## かまどホール ☎ (0877) 46-2178

- ～12/16 速水史郎展 一素材の美— 10:00～
- 1/5～27 第55回現代工芸美術家協会四国会展 10:00～
- 2/2～24 山口一郎個展 10:00～

## 多度津町政策観光課 ☎ (0877) 33-1116

- 12/1 たどつ桜たんぽぽページェント  
県立桃陵公園 15:00～

## サクラートたどつ(多度津町民会館) ☎ (0877) 33-3330

- 12/16 第5回多度津中学校吹奏楽部  
アンサンブル発表会  
2階ホワイエ 10:30～
- 12/16 「子どもと大人のクリスマス  
リトミック ワークショップ」  
リハーサル室 14:00～

- 2/3 T-BOLAN 30th Anniversary  
LIVE Tour「the BEST ～励～」  
ホール 17:30～

- 2/11 四国芸術音楽祭Vol.0  
2階ホワイエ 14:00～

- 2/16 劇団四季ファミリーミュージカル  
「王様の耳はロバの耳」  
ホール 18:00～

- 2/17 第27回 尽誠学園 音楽祭  
ホール 14:00～

- 2/24 第10回 新体操 演技発表会 13:00～

- 3/3 宝くじ文化公演「国府弘子×川井郁子  
スペシャルコンサート  
～東京オーケストラMIRAIと共に～」  
ホール 14:00～

## 丸亀市文化振興事業協議会 ☎ (0877) 24-8822

- 12/2 2018まるがめ第九プレコンサート  
本願寺塙屋別院 14:00～

- 12/9 2018まるがめ第九演奏会  
丸亀市綾歌総合文化会館 14:00～

## 丸亀市文化協会 ☎ (0877) 24-8822

- 1/26 平成30年度優秀映画鑑賞推進事業  
名作映画まつり「君も出世ができる」、  
「大学の若大将」、「ジャンケン娘」の3本立  
丸亀市生涯学習センター3階ホール 10:00～

## <西讃文化協会>

- 2/13～24 第27回香川県文化協会  
西讃支部美術展覧会  
(丸亀市、善通寺市、坂出市、観音寺市、  
三豊市、宇多津町、琴平町文化協会会員の  
絵画49点、書28点、写真14点を展示)  
善通寺市美術館 10:00～

## あーとらんどギャラリー ☎ (0877) 24-0927

- ～12/23 常設展 10:00～

- 1/10～27 今村由男 展 10:00～

## 観音寺市教育委員会 ☎ (0875) 23-3943

- ～12/9 豊かな空間をつくる  
イサム・ノグチ×讃岐の中学生

- ～12/27 観音寺市立中央図書館2階  
俳句絵手紙作品展(巡回) 9:00～

- 観音寺市役所1階 8:30～

- 1/10～17 俳句絵手紙作品展(巡回) 9:00～

- 1/18～25 大野原図書館 9:00～

- 2/3 俳句絵手紙作品展(巡回) 9:00～

- 第14回観音寺市民音楽祭  
ハイスターフホール大ホール 12:00～

## 観音寺市民会館 ☎ (0875) 23-3939

- 12/13 古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー  
ヴィルトゥオーゾ 大ホール 19:00～

- 12/15 ORANGE RANGE LIVE TOUR  
018-019 ～ELEVEN PIECE～  
大ホール 17:30～

- 12/16 総合開発Presents「石壁の響きシリーズ」  
宮田大 チェロリサイタル 14:00～

- 12/17 福田こうへいコンサート2018～真心伝心～  
大ホール 12:30～、17:00～

- 12/24 「香川若手コンサートシリーズ」  
岡田昌子 ソプラノリサイタル 14:00～

- 1/13 小ホール 「石壁の響きシリーズ」  
熊本マリオのおしゃべり名曲コンサート 14:00～

- 2/11 MONGOL800  
20th ANNIVERSARY TOUR  
「Life is peaceful 2018～2019」  
大ホール 17:30～

# イベントガイド

## 高松市美術館 ☎ (087) 823-1711

～12/24 第3期常設展 9:30～●  
～12/16 起点としての80年代展 9:30～●  
1/5～3/24 第4期常設展 9:30～●  
2/2～3/24 やなぎみわ展 9:30～●

## 高松市歴史資料館 ☎ (087) 861-4520

### 【サンクリスタル高松】

～12/28 学習室展示「たかまつの手仕事—暮らしの中の伝統工芸品—  
(工芸ウィークに合わせ、当館蔵品である伝統工芸品を一堂に展示・紹介)  
学習室 9:00～●

2/2～3/24 収蔵品展「イメージの形成と拡散—メディアとしての錦絵・刷物—」(仮称)  
(江戸～明治時代の錦絵・刷物を中心に、イメージの変遷について展示・紹介)  
企画展示室 9:00～●

### <讃岐村塾講演会>

12/15 香川県地域振興参与 竹内守善  
視聴覚ホール 13:30～■  
1/26 香川大学名誉教授 田中健二  
第1集会室 13:30～■  
2/23 香川医科大学名誉教授 西岡幹夫  
第1集会室 13:30～■

## 菊池寛記念館 ☎ (087) 861-4502

### 【サンクリスタル高松】

<各月の文芸講座> 13:30～■  
12/1 「菊池家と高松の漢学風土」(先着200人)  
講師: 田山泰三 3階視聴覚ホール  
1/5 「ずいひつ『文章教室』参考書から学ぶ」  
(先着80人) 講師: 篠永哲一  
3階第1集会室  
2/2 「日本近代小説の流れとその時代」  
(先着80人) 講師: 市原信夫  
3階第1集会室  
3/2 「1スズ、2ヌケ、3ドウサ」(先着80人)  
講師: 中西博文 3階第1集会室

## 高松市生涯学習センター ☎ (087) 811-6222

12/7 讃岐のため池文化と水  
視聴覚室 13:30～●  
12/14 七宝焼で作る素敵なアクセサリー教室  
～あなただけのネックレスを作ろう～  
実習室 13:30～●  
12/16 苔玉作り教室 実習室 13:30～●  
12/18 生駒氏の讃岐統治と高松城を取り巻く支城  
大研修室 13:30～■

## 玉藻公園 ☎ (087) 851-1521

12/8～1/31 松ぼっくりツリー展示 水門付近  
1/1～3 玉藻公園年始無料開放  
1/2 第8回高松城新春初め大会 披雲閣  
1/3 第11回高松城新春かるた大会 披雲閣  
1/7～20 高松城新春初め展 披雲閣  
2/2 菊作り講習会 披雲閣

## 公益財団法人香川県教育会館 ☎ (087) 833-0013

### 【ミュージックホール】

12/5 第38回香川大学ギターアンサンブル部  
定期演奏会 18:00～●  
12/22 香川大学合唱団 第62回定期演奏会  
14:00～●  
1/20 サヌキロックンロールサーカス2019  
12:30～●

## 高松市文化芸術振興課 ☎ (087) 839-2636

1/20 0才からのコンサート  
香南コミュニティセンター 14:00～■  
1/27 高松国分寺ホール出前寄席 行こうで!  
かわらまち寄席 瓦町FLAG8階・IKODE  
瓦町アートステーション 14:00～■

### 【高松国分寺ホール】

12/1 クリスマス・マーケット  
エントランス・玄関前広場 10:00～■

## あそびうたコンサート

ホール 13:30～●  
12/22 愛のワンデー  
エントランス・玄関前広場 10:00～●  
12/23 映画上映会「百年の時計」  
ホール ①10:00～、②13:30～●  
1/6 ズンパでスタート ホール 13:30～●  
1/13 新春落語会 ホール 14:00～■  
2/2 SAE音楽フェス ホール 13:00～●  
2/9 ファミリー映画鑑賞会  
ホール 時間・料金未定  
2/10 スタインウェイピアノリレーコンサート  
ホール 9:00～■(参加は●)  
2/23 南ファミリー劇団特別公演  
ホール 14:00～●

### 【サンポートホール高松】

12/15 小曾根真 THE TRIO  
クリスマス・ツアー 大ホール 18:30～●  
1/26 落語 春風亭一輔 独演会  
第1小ホール 14:00～●  
3/2～3 第8回サンポートホール高松  
デビューリサイタル  
第1小ホール 各日14:00～●

## NHKふれあいギャラリー ☎ (087) 825-0160

12/4～9 第12回NHK文化教室 漢字書道作品展  
NHKカルチャー高松漢字書道教室  
9:30～■  
12/11～16 猪股洋子と創作手描友禅  
華の会 作品展  
NHK文化センター創作手描友禅 9:30～■  
1/22～27 私達の写真展 フォトクラブ採光  
9:30～■

## 高松三越美術館 ☎ (087) 825-0738

12/4～17 2019暦展 10:00～■  
12/18～26 壽子の掛軸展 10:00～■  
12/27～1/7 墨画の世界 小玉茂右衛門展 10:00～■  
1/8～14 0号の世界展 10:00～■  
1/15～20 北大路魯山人展 10:00～■  
1/22～27 有元利夫 版画展 10:00～■  
1/29～2/4 日本画・洋画秀作展 10:00～■  
2/12～25 ピカソとエコール・ド・パリ展 10:00～■  
2/26～3/4 次代の展望 若手作家日本画展 10:00～■

## 桜ショップ高松店 ☎ (087) 831-8866

2/2～8 「藤代光雄 創作雛人形展」  
～刀彫に彩色や木目込みをした  
シンプルな雛人形 10:00～■

## ギャラリーen ☎ (087) 851-3711

1/18～23 おひろめ展 や和らぎたかすの着物  
10:00～■

### 【社とのなり】

12/4～15 てんてこ舞 お正月飾りと小物フェア  
11:00～■

## 珈琲倶楽部 ☎ (087) 823-0160

12/1 COFFEE TO BOOKS TO LINEN  
コーヒーと古書とリネン 13:00～■  
12/8 片山智夫チェロコンサート  
13:30～、15:30～(2回公演) ●  
12月中頃～25 ちょっとと素敵だけどてばなししょう展  
10:00～■

## 1/15 絵本セラピストの 佐藤梨さんをお迎えして 13:30～●

## ギャラリーFine Art21 ☎090-4507-4892

12/14～24 木村美鈴 小品展(遺作展) 11:00～■  
12/14～24 木村美鈴遺作展  
香川県文化会館 9:00～■

## 高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087) 879-0717

[2階市民ギャラリー]  
～12/2 企画展「現代刀展」  
12/8～1/14 巡回展「戦国時代の高松」  
1/18～2/6 企画展「第18回 篆刻展」  
9:00～■

## 2/17～3/17 企画展「第18回 郷土の文化拓本展」

## 高松市石の民俗資料館 ☎ (087) 845-8484

～12/9 共催展「師走展 前期」「文化協会むれ」  
所属の「草萌」と「O's工房」の作品展  
企画展示室 9:00～■  
12/14～23 共催展「師走展 後期」「文化協会むれ」  
所属の「和紙ちぎり絵同好会」と「永和書  
道会」の作品展 企画展示室 9:00～■  
12/15 コンサート 冬の夜に聴く木の響き  
エントランスホール 18:30～●  
1/12～2/17 さぬきアートプロジェクト「オスカー ロバ  
ラス展 ～慧眼 見えない世界～」  
庵治石の彫刻、ブロンズ、シルバー、木、  
粘土などのオブジェや版画等、約30点を  
展示 企画展示室 9:00～●

## 土庄町教育委員会 ☎ (0879) 62-7013

### 【土庄町立中央公民館】

12/9 第26回土庄町音楽フェスティバル  
大ホール 13:00～■

## さぬき市志度音楽ホール ☎ (087) 894-1000

12/2 ホンヤミカコさんの歩き遍路体験談&  
ミニライブ 14:00～●  
12/16 志度音楽ホール少年少女合唱団  
第26回定期演奏会 14:00～●  
12/22 冬のコンサート想い出の歌2018  
with 浪漫ファイブ 18:00～●  
2/3 瀬戸フィル室内楽コンサート 14:00～●

## 東かがわ市教育委員会生涯学習課 ☎ (0879) 26-1238

### 【東かがわ市交流プラザ】

12/16 交流プラザ映画会「赤毛のアン」  
多目的ホール ①10:30～、②13:30～●

## 讃州井筒屋敷 ☎ (0879) 23-8550

12/8～25 井筒屋敷母屋佐野家の調査品展示  
10:00～●  
1/1 正月飾り(1/1は休館) 10:00～●  
2/2～3/24 引田ひな人形展示 先行展示  
(2/27～3/31引田ひなまつり) 10:00～●

## とらまるバベットランド ☎ (0879) 25-0055

12/22～24 クリスマスイベント2018  
人形劇ミュージアムにて、クリスマススベ  
シャルステージ、セット券ご購入のお子様  
にオリジナルグッズプレゼント 10:00～●  
1/2～6 お正月イベント2019  
人形劇をご覧の方に温かい飲み物の振舞い、  
人形劇ミュージアムでもお正月の楽しみ  
イロイロ! 10:00～●

## 香川県立東山魁夷せとうち美術館 ☎ (0877) 44-1333

～1/27 第3期テーマ作品展 9:00～●  
1階「語りかける風景／絵の主人公を探して」  
2階「冬のドイツ／巡り来る季節の中で」  
1/31～4/7 第4期テーマ作品展 9:00～●  
1階「遍歴の風景／東西を旅して」  
2階「心の歳時記／『新潮』表紙絵」

## 坂出市建設経済部産業課にぎわい室 ☎ (0877) 44-5015

12/8 加茂山樋古墳群と国宝神谷神社をめぐる  
坂出市観光案内所 9:00～●  
12/16、1/20、2/17 崇徳上皇の足跡と国宝神谷神社をめぐる  
坂出市観光案内所 9:00～●  
12/24 クリスマスコンサート  
坂出市民ホール 14:00～■  
1/20 府中・加茂大型古墳群見学と  
讃岐うどん人気店での昼食  
坂出市立府中中学校 9:00～●  
2/3 城山城址と氷結の不動の滝  
坂出市観光案内所 9:00～●  
2/24 府中・醍醐大型古墳群見学と  
こんにやく作り体験  
坂出市立府中中学校 9:00～●



# 財団からのお知らせ

## 中條文化振興財団・文化活動奨励事業

十月九日(火)、長年にわたり地域文化の振興に貢献された方々の功績をたたえ、平成三十度財団賞授賞式を開催しました。

今年度の財団賞は、庵治皇子神社船渡御保存会(高松市庵治町)と、中山農村歌舞伎保存会(小豆郡小豆島町)が受賞され、藤川代表理事より賞状及び奨励金を贈呈致しました。

併せて、平成三十度助成金の交付認定を受けている鬼ヶ島文化村、香川県陶芸協会、高松東部商店振興会、西谷美紀氏に認定書が授与されました。



懇親会では、行事の様子を伺ったり、ワークショップの写真を見せていただいたりと活動のご報告を受けました。

## 平成三十一年度

### 助成金応募受付中

#### ■対象事業

平成三十一年四月一日から平成三十二年三月三十一日までに実施予定の文化事業。詳しくは助成基準をご覧ください。

#### ■応募の方法

財団所定の助成金交付申請書を提出してください。(HP参照)  
応募締切は、平成三十一年一月末日。

#### ■助成金

三十万円を限度とし、活動に応じた金額を審議委員会が決定致します。

審議委員会による書類審査を行い、必要があればプレゼンテーションを開催。  
平成三十一年三月末までに結果をご連絡致します。

助成基準、所定の申請書等は、当財団ホームページよりご確認いただくか、事務局までお問合せ下さい。

## 中條文化振興財団

### 節分茶会のご案内

先頃、奈良、興福寺中金堂落慶法要の折に献茶式をされた武者小路千家第十五代家元後嗣、千宗屋宗匠。

「過去にも、現代にも、とらわれ過ぎるとつまらない茶になってしまふ。そうしたこだわりの先にある自然な境地こそが、茶の湯者の目指すところ」と常々言われる若宗匠は、これからの茶の湯に新風を巻き起こす存在として、各方面より注目されています。

今回、若宗匠とご一緒に薄茶席の釜を懸けて下さるのは、大阪の職分家、木津家ト深庵の六代目となる露真宗匠です。

この度の一期一会も得がたい機会となると思いますので、流儀にこだわりなくご参加下さい。

日時 二月三日(日)  
処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

濃茶 武者小路千家家元後嗣 千宗屋宗匠  
薄茶 武者小路千家 木津露真宗匠

茶席 濃茶・薄茶・点心席  
会費 二万五千円

入席時間ご案内

第一席 九時	第二席 九時五十分
第三席 十時四十分	第四席 十一時三十分
第五席 十二時二十分	第六席 十三時十分
第七席 十四時	第八席 十四時五十分

(各席十五名・二時間三十分を予定)

## 編集後記

今回で1000号の発行となりました。編集に携わりましたみなで様々な検討をしつつお届けしてまいりました。

この間、表紙を飾っていただきました方々、財団賞を受賞された方々、助成金の交付をうけられました団体や個人の方々、また、執筆・寄稿をしていただきました方々と多くのご協力をいただきましたことを心より御礼を申し上げます。

いただいた御縁を大切に、これからも多くの御縁をいただくことを願いつつ、当財団の理念のもと、地域文化の発掘と継承・向上に役立ちますように皆様がたに文化通心をお届けしてまいりたいと思っております。

新しい年もどうぞよろしくお願ひいたします。

#### 【声・情報お寄せください】

〒760-0017  
高松市番町二丁目一十二  
公益財団法人 中條文化振興財団編集部  
TEL(087)826-3355  
FAX(087)826-2212  
info@chujo-zaidan.or.jp